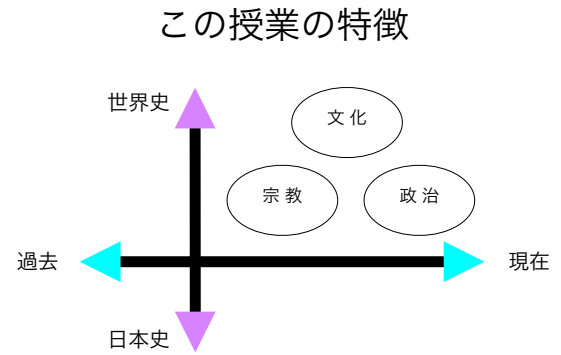


ポイントの再確認

授業の前半と後半の関係



授業の構成

| 1 | 導入 | |
|------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2-7 | 日本宗教の形成と展開 | (現代) 宗教の風景 (古代) 神々の世界 (古代) 仏教以前、仏教伝来 (中世) 平安時代の宗教 (中世) 鎌倉仏教、禅とその文化 (近世) 近世の宗教 |
| 8-15 | 近現代における日本宗教 | 宗教を規定する政治力学 近代日本における政教分離の形成 日本型政教分離の構造 一神教と多神教をめぐるディスコースとリアルポリシーク 宗教の多元化と多元主義 信仰の土着化とナショナリズムの相関関係 |

宗教を規定する政治力学

国家・科学との関係の中で

Overview

- 世俗化
- 「宗教」概念の歴史の変遷
- 近代日本における宗教と科学
- 仏教と科学
- 科学のおよび神話的世界観への適応
- 進化論の受容から見える科学と宗教の共生関係
- 総括
- [補足] 近代から現代・近未来へ

世俗化

- 世俗化 (secularisation) とは何か
 - 西洋における世俗化
 - 日本における世俗化
- 世界は世俗化しているのか
- 世俗主義 (secularism) ・政教分離
 - 私的領域と公的領域の分離

「宗教」概念の歴史的変遷

- 宗教 (religio) と迷信 (superstitio)
- ローマ的秩序に適合するものが religio とされた。
cf. 近代日本、現代中国
- キリスト教はその初期において「迷信」とされた。
- キリスト教がローマ帝国の「宗教」となる
- 西洋ではキリスト教が「宗教」の範型
- キリスト教以外の宗教は「迷信」

近代日本における宗教と科学

- religion の翻訳語としての「宗教」
- キリスト教（特にプロテスタント）が「宗教」概念のモデルとなる。
- 科学と宗教
- 「迷信」（民俗的なものを含む）を駆逐するためのパートナー

仏教と科学

- キリスト教に対する「防波堤」としての仏教
- 日本における進化論論争
 - 仏教からのキリスト教（創造論）批判
 - T・ギュリックによる進化論講義（同志社）

科学のおよび神話的世界観への適応

- 仏教は、内部の神話的世界観を批判的に対象化できたか？
- 外部の神話的世界観（皇国的世界観、天皇神話）を対象化し得たのか？
- 科学と宗教の自己批判・相互批判なき平行関係がもたらしたものの

総括

- 「宗教」を定義する主体は誰なのか？
- 宗教が科学に対し示すべき価値や規範は何か？
 - 生命の尊厳、平和構築への積極的提言
 - 科学的知見（外部コンテキスト）と神話性（内部コンテキスト）の批判的認識
- 公的領域と私的領域をどのように関係づけるべきなのか？
 - 単純な二分法的区分がもたらした負の側面

近代から現代・近未来へ

- 科学の進歩は、日常（此岸）と非日常（彼岸）の区別にどのような変化をもたらすのか？
- 攻殻機動隊 Ghost in the Shell（1995）
- マトリックス Matrix（1999）



Matrix



リアル（現実）とバーチャル（仮想）の緊張関係

- 祭り、建築、音楽、文学等
- vertical な超越
 - 日常世界（生者）と超越的世界（死者、神々）の交流
 - 人間の「こころ」の深層（たましい）との交流
- horizontal な超越（科学技術により拡大）

情報化の彼方に

- 産業化・情報化の中で進行する身体感覚の希薄化。
- 太古の時代からバーチャルな存在であるはずの人間が、技術革新の中で、現実と仮想を行き来するための平衡感覚に不安を持ち始めている。
- 心の身体化の欲求（例：宗教復興現象）